

シリーズ 「私たちの思い」

小川 千秋 (おがわ ちあき)

柏崎刈羽原子力発電所
第一保全部 建築(第一)グループ

平成4年入社 上越市出身

問題が生じていないかなど、その壁を作ることで新たに発生する影響をさまざまな観点から検討します。さらに、その壁に配管やケーブルを通すなら、機械や電気を担当する部門を交えて綿密な技術検討を重ねる

発電所の安全のため、 とことん検討を重ねる

地震と津波、福島第一の事故の映像をテレビで見たのは育児休職中、自宅リビングでした。私は入社以来、柏崎刈羽原子力発電所の建物や設備の設計・建築に携わり、中越沖地震の大きな揺れに原子炉建屋が耐えたのも間近で見えてきました。発電所の安全性をとて信頼していた私は、画面に映し出される光景にがく然としました。

その年の10月に職場復帰をして、現在は、発電所の安全性を高めるための設計・工事に携わっています。安全に対しては「これで大丈夫」は無く、これでもか、これでもかと、自分が納得できるまでとことん検討を重ねることが大事だという思いが強くなりました。

例えば原子炉建屋内に「耐火壁」を作るとき、単に頑丈なコンクリート壁を設計すればいいということではありません。壁の温度上昇は規定内か、緊急時にもスムーズな往来ができるか、後に周囲の設備点検をする時に支障にならないか、他に安全上の

ねます。発電所では複数の工事が干渉しあう現場もあり、それぞれを工程どおりに進め、高品質の設備を作っていくためには、しっかりと安全に工事を行うことが何よりも大切だと考えています。多方面から検討を重ねることは発電所の安全品質を高めるためにもとても重要であることを、後輩たちにも伝えていきたいと思っています。

友人から発電所について疑問や不安の声があれば、知っていることは全て話すようにしています。一児の母として「安心して子育てできる環境」を求める思いは、私も周りのお母さんたちと同じ。信頼関係は人と人のつながりから生まれますので、誰に対しても誠実に向き合い、話したいと思っています。そして、「女性だから…」と自分の可能性を狭めないで、同じように働くお母さんや後輩たちのためにも、胸を張れる仕事を続けていきたいと思っています。

平成28年11月撮影

昨日より今日、今日より明日。私たちは、より高い安全レベルを目指し挑戦を続けます。

シリーズ「私たちの思い」は、WEBでもご覧いただけます。

TEPCO 新潟本社  <http://www.tepco.co.jp/niigata/index-j.html>



東京電力ホールディングス 新潟本社

025-283-7461

9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始除く)

TEPCO